

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年7月1日
事業者名:	合同会社Min10

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	宿泊管理の完全デジタル化（ペーパーレス）による森林資源の保護と、ゲストへの環境配慮（川の環境保全・ゴミ削減）の啓発		⑫つくる責任 つかう責任, ⑮森の豊かさを守ろう	Beds24およびAirbnbを活用した「非対面チェックインシステム」の導入、および自社HPやカレンダーでのデジタル宿泊名簿・利用案内の仕組みを構築完了。紙のパンフレットや名簿の印刷をゼロに抑えて宿の運営を開始している。	指標	年間を通じた運営における、紙の宿泊名簿・紙の周辺案内ガイドの「年間使用（印刷）枚数」
					目標	宿泊名簿および紙の案内冊子の印刷枚数を「年間0枚（100%デジタル化）」を維持する。
社会	下呂地域の空き家リノベーション（改修）による地域景観・防犯性の維持と、地域の遊休資産の有効活用		⑪住み続けられるまちづくりを	飛騨地方の空き家をリノベーション改修し、現在は賃貸物件として3棟、1棟貸しヴィラとして1棟の運営を行っている。 さらに、放置されていた空き家の適正管理と観光資源化（地域活性化）を目指し、2026年8月オープンに向けて、1棟貸しヴィラ（民泊）1棟の改修・開業準備に着手している。	指標	飛騨地方における「空き家・遊休資産の改修および適正管理（運営）への着手物件数（累計）」
					目標	現在着手している民泊物件を今年度中にオープンさせ、2028年までにさらに追加で空き家改修・運営を行うことで、累計10棟の空き家再生を実現し、地域の空き家問題解決に貢献する。
経済	空き家改修における地元施工業者への優先発注と、素泊まり（1棟貸し）運営による地域商業への経済波及効果の創出		⑧働きがいも経済成長も, ⑪住み続けられるまちづくりを	空き家改修や物件維持の施工において、地元の建築・内装業者等へほぼ全ての案件を優先的に発注し、飛騨地域の木材や建築資材も積極的に採用することで、地域産業の活性化に貢献している。また、運営する宿泊施設は「素泊まり（食事なし）」を基本としているため、宿泊客が下呂市内の飲食店を利用したり、地元の商店で食材等を購入したりする流れを生み出し、地域経済に直接還元する仕組みを構築している。	指標	①空き家改修における地元業者への優先発注の継続、および ②民泊運営による年間宿泊客（地域での消費推進対象）の誘致数
					目標	今後も空き家改修における地元業者への優先発注および地域資材の積極活用を継続するとともに、民泊において年間150組以上のゲストを誘致し、萩原町周辺の飲食店や商店への持続的な経済波及効果をもたらす。
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 環境・社会・経済の重点取り組みについて、社内共有の場で定期的に進捗を確認する体制を構築しています。具体的には、①年度毎に空き家改修や客数、地元発注の方針を計画し（P）、②これに基づき改修や民泊の運営、周辺店舗への案内を実行（D）。③定期的に「ペーパーレスの維持」「地域への経済還元（宿泊組数）」の実績を振り返り（C）、④改善点があれば次期の改修計画や宿の運営方法に速やかに反映・改善する（A）、というPDCAサイクルを組織内で回すことで、取り組みを確実に持続的なものにしていきます。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・会社窓口に取り組み内容を掲示している ・ホームページにてSDGsの取組を掲載予定（8月） URL : https://mintospace.studio.site/				